

## 第1回鹿野地域振興会議議事概要

日 時：令和6年4月25日（木） 午後3時～午後5時16分

場 所：鹿野町総合支所 2階 会議室

### 【出席委員】

岡本洋一、小川義和、長谷川誠一、兼平 恵、砂川重雄、塚本 均、  
佐々木千代子、筒井洋平、山名 修、武部夏美

以上10名（敬称略）

### 【欠席委員】 吉井秀三、池原恵理

以上2名（敬称略）

### 【事務局】

<鹿野町総合支所>

岡本支所長、小林副支所長兼地域振興課長（併教育委員会事務局鹿野町分室長）、  
國森産業建設課長、岡田市民福祉課長、宮本地域振興課課長補佐

### 【傍聴者】 なし

### 【日 程】

#### 1 開会

#### 2 会長あいさつ

#### 3 議題

- (1) 開催スケジュールについて (資料ダウンロード)
- (2) 地域振興会議に代わる新たな会議体について (資料ダウンロード)
- (3) 総合支所重点・強化施策及び懸案事項及び関係予算について (資料ダウンロード)

#### 4 報告事項

- (1) 地区公民館の使用方法について (資料ダウンロード)
- (2) 行事経過報告及び今後の予定について (資料ダウンロード)

#### 5 その他

#### 6 閉 会

## ◎議事概要

### 3 議題（1）開催スケジュールについて

事務局より資料1に基づき説明。

・令和6年度の地域振興会議開催スケジュールを説明

【委員】地域振興会議の視察先については今直ぐに意見が出ないので、次回までに考えて来てもらってはどうか。

【事務局】次回の会議で視察先と時期についてご意見いただきたいと思います。

### 3 議題（2）地域振興会議に代わる新たな会議体について

事務局より前回会議資料を基に説明。

・令和5年度第7回地域振興会議会の資料を基に説明

意見なし（素案に同意）

### 3 議題（3）総合支所重点・強化施策及び懸案事項及び関係予算について

事務局より資料2に基づき説明。

・鹿野町総合支所における昨年度の取組みの進捗状況、今年度に向けた主な地域別事業と課題を説明

【委員】乗合タクシーの実証実験は9月をもって終了したのか。

【事務局】実証実験は一旦終了しました。現在は運行していません。

【委員】地域おこし協力隊について、3年間は人件費を含めた補助があるようだが、1、2年ですぐに結果が出るものではない。活動が一過性で終わってしまう可能性があるので、徐々に減額されるにしても、3年後も財政支援の継続ができないか。

【事務局】地域おこし協力隊は、3年間で自立することを目指し、3年後に地域で活動できることを目的としている制度です。

【委員】現在、協力隊に取り組んでいる市町村がたくさんあり、隊員のネットワークができていて、情報交換や人脈づくりができるようになっている。また、以前は在任中に稼いではいけないという縛りがあったが、今は多少稼げる

ようになったことで、3年間で自立のための助走期間となっている。

【事務局】 3年後の生業や行政以外の支援も見据えながら、活動していく必要があります。

【委員】 現在、鹿野で活動している隊員は、ローソン横の倉庫をアップサイクルの拠点にしようという計画で活動している。先日開催した蚤の市イベントには、たくさんの人に来ていただいた。隊員のセンスの良さをそのときに感じたので、活動が軌道に乗り、その拠点を目掛けて町外からたくさん人が来るようになればいいと思う。

【委員】 図書館は支所に移設する前提なのか。支所の改修とは別にトレーニングセンター図書室と鹿野学園図書開放の方向性を議論してほしい。

【事務局】 支所への移設は一つの案であり、前提ではないです。支所の改修を待たずに、図書室と図書開放のあり方を整理していきたいと思います。

【委員】 新地域振興ビジョンは5年度末で終わったが、今後、新たなビジョンをつくるのか。

【事務局】 5年度で終了した新地域振興ビジョンは、鳥取市中山間地域対策方針に吸収される形で紐づけられています。今後は、それを基に地域振興会議で協議しながら地域プランを作成していきたいと考えています。

【委員】 循環バスとJRの接続を見直すことはないか。

【事務局】 JRのダイヤ改正に合わせて循環バスのダイヤも改正しています。循環バスとJRの接続については、利用者が一番希望している時間帯などのニーズを把握したうえで、試行錯誤しながら利用率の向上に努めていきたいと思います。

【委員】 今年は、城跡公園の花見客に外国人が多かった。城跡公園のトイレを洋式に変えることは出来ないか。

【事務局】 以前からトイレを洋式化できないか検討してきましたが、使えそうな補助制度がありませんでした。今後、インバウンドなどを対象にした使えそうな補助制度が出てくれば活用し、洋式化に取り組んでいきたいです。

【委員】 城跡公園で花見をしていた時に外国人の方と一緒にになった。鹿野の桜をSNSで知り、友達を誘って海外から初めて鹿野に来たということだった。そんな外国人の方にトイレが和式で使えなかったとSNSで発信されてし

まったら、非常に残念だ。

【委員】 SNSで見つけた譲伝寺を見に来たというドイツ人女性がいた。訪れた鹿野を気に入り、また来たいと言っていた。

【委員】 町外者だけでなく、町民に鹿野のために頑張っている人の事を知ってもらう手段がないだろうか。SNSやイベント会場に鹿野の良さを情報発信するためのPRコーナーを設けるなど、私自身もやってみたい。それはいつかインバウンドや県外のツアー客の誘致に繋がると思う。

【事務局】 只今、「ハッシュタグうれしかのキャンペーン」という取り組みを行っています。インスタグラムで「#うれしかの」を付けた鹿野の魅力的な写真などを投稿すれば、抽選で鹿野の特産品をプレゼントするという企画です。インターネット上で鹿野の情報がどんどん出てくることを目指し、昨年から取り組んでいます。

【委員】 市が管理する城跡公園の範囲はどこまでか。

【事務局】 王舎城学舎グラウンド、薬研堀のあたりまでは市の管轄ですが、外堀の北側は管轄外です。

【委員】 桜まつりで城跡公園の駐車場がパンク状態であった。

【事務局】 桜が咲き始めてからの金土日の3日間は交通誘導員を配置し、車の流れをつくることができました。しかし、支所や河川敷の臨時駐車場が満車になるほどの来場者で、これ以上は民間企業などの駐車場を借りるしかないと思います。

【委員】 一方通行などの通行規制が必要なのでは。

【事務局】 良く目立つ案内看板や矢印板を多く設置すれば、車の誘導をよりスムーズにできるように改善できると思います。また、城跡公園周辺では花見客と駐車場に入る車が溢れ、接触事故があったと浜村警察署から連絡が入っています。来年は鳥の劇場の改修工事にあわせて、道路の一部を歩行者専用道路として使用できる可能性があります。

【委員】 河川公園の下流側は、駐車場として使えないのか。

【事務局】 下流側は、グラウンドゴルフの団体がグラウンドゴルフ場として使用、管理されています。上流側は鹿野学園PTAに除草等をお願いしており、色々な団体がイベント等の駐車場として使用されています。

【委員】地域別事業の一覧は、分かりやすいように関連事業ごとにまとめてほしい。

【事務局】承知しました。次回修正します。

【委員】市役所の課の名称が変更になっているが、頻繁に変わると分かりにくいので極力変えてほしくない。

【事務局】法律が変わり、それに関係する国や県の部署名が変わることがあります。市もそれに合わせて名称を変えることがあります。

#### 4 報告事項（1）地区公民館の使用方法について

事務局より資料3に基づき説明。

・地区公民館情報誌「学びげーたー」の掲載ページを基に説明

【委員】鹿野地区公民館だけは、使用方法の変更がないということが資料に載っていない。

【事務局】鹿野地区公民館はトレーニングセンターを間借りしていますので、トレーニングセンター管理条例に規定されている使用料となり、既に民間企業や営利目的での使用は有料となっています。

#### 4 報告事項（2）行事経過報告及び今後の予定について

事務局より資料に基づき説明。

意見なし

#### 5 その他

【委員】前回の会議で人口問題研究所の人口推計の資料があったが、昨日、その人口推計に関連して消滅可能性自治体の発表があった。鳥取市全体では該当しなかったが、鳥取県東部の他町村は全て消滅可能性自治体であった。おそらく、鹿野町も単独であれば消滅可能性自治体になっていたと思う。長い目を見たときに、この地域に定住やUターンしてもらい、住民を確保していかないといけない。地元に住んでいると気づかないが、鹿野の魅力を地域の子どもたちや町外者に伝えていく必要がある。鳥取市も移住に力を入れているが、小規模な町村のように移住補助金や保育料無償化などの大胆な施策を講じることは困難と思う。また、働く場所や質の高い雇用を確

保するために、新しい産業を地域に誘致できるような取り組みができないだろうか。

【委員】 移住者や若者は、やっぱり近くに買い物できるお店や病院がないと出て行ってしまう。また、簡単なことではないが、山間部の限界集落のことを考えると、コンパクトシティのように鹿野の街なかに移り住んでもらい、公共交通や上下水道などのインフラを維持させることも一つの解決方法だと思う。これからの若い人を集めて、鹿野のことについてゼロベースで話し合う場があればいいと思う。

【委員】 鹿野町今市に移住される人が多いが、鹿野温泉病院という大きな総合病院があることが移住先に選んだ理由の一つという人もいる。

【委員】 都会から来た人が、高齢で車の運転ができなくなったので仕方なく都会に帰った人がいる。

【委員】 お店や病院は、閉店して不便になってから騒がれる。閉店する前にたくさん利用してもらわないと経営が困難なら存続することができない。